

saveMLAK ニュースレター

第 65 号

COVID-19 関連の取組みを広報すること

2020年4月以来、saveMLAKではCOVID-19関連の活動が盛んです。「**COVID-19 対応のベストプラクティス共有**」では、MLAK機関の特徴的な取組みが続々とWikiにアップされています。また、「**COVID-19の影響による図書館の動向調査**」は初回の株式会社カーリルによる調査も含め、8月末時点で10回行われています。(※1)

動向調査ではプレスリリースを作ることになり、せっかくプレスリリースを書いたので、リリースを作ったメンバーで図書館関係の機関に投げ込みを行いました。国立国会図書館が運営するカレントアウェアネス・ポータル事務局にメールを送ったところ、カレントアウェアネス-R(ブログ形式のニュース速報、<https://current.ndl.go.jp/>)に取り上げられました。その後、毎回の調査結果を掲載していただいています。数回調査結果をお知らせしたところ、カレントアウェアネス-E(メールマガジン、同サイトでも読める)の記事執筆の話が舞い込んできて、COVID-19libdata チームの4人でカレントアウェアネスの記事を執筆しました(E2283- 現在(いま)をアーカイブする: COVID-19 図書館動向調査、2020年7月30日掲載。CC-byで転載可)(※2)。なんと、この記事が初めてカレントアウェアネス-Eに掲載されたsaveMLAKの記事だということです。Rでは活動がしばしば取り上げられていましたが、Eで取り上げられる機会はなかったとのこと。

日本図書館協会にも投げ込みをしたところ、協会ウェブサイト「新型コロナウイルス感染症への図書館の対応事例」のページにリンクが掲載されたり、メールマガジン(2020/07/01 第999号、2020/08/05 第1005号)にも短報が掲載されました。(※3)

また、図書館問題研究会の会員用メーリングリストに投げ込みをしたところ、としょかん文庫・友の会から動向調査の記事執筆依頼があり、2020年8月1日発行の季刊誌「としょかん」154号に「COVID-19と図書館」が掲載されました。(※4)

これらの記事や短報を見てsaveMLAKを知った方や、今回の取組みに興味を持った方もそれなりにいらっしゃるようです。動向調査の結果を説明資料に使いましたと言ってくれる方もいました。活動を知らせる活動も大事なことと思います。

今後も、プロジェクト参加者による記事が他誌に掲載される予定がありますのでぜひお読みいただければ幸いです。そして、プロジェクトにご参加のみなさま、記事の執筆依頼が来ましたら、これもプロジェクト発展の一助と筆を執っていただければ幸いです。どうぞよろしくお祈りします!

【子安伸枝】

※1: saveMLAK、「COVID-19の影響による図書館の動向調査(2020/08/29)」の結果を発表

(2020年9月3日 カレントアウェアネス・ポータル)
<https://current.ndl.go.jp/node/41913>

※2: E2283- 現在(いま)をアーカイブする: COVID-19 図書館動向調査

カレントアウェアネス-E No.395 2020.07.30
<https://current.ndl.go.jp/e2283>

※3: 日本図書館協会 新型コロナウイルス関連情報のページ
<https://www.jla.or.jp/home/tabid/853/Default.aspx>

※4: としょかん文庫・友の会
<https://toshokanbunkotomonokai.jimdofree.com/>



<COVID-19 に対する取り組み> (2020.5 再掲)

COVID-19 の流行をうけて全国各地の MLAK 機関が休館・閉館をしています。4/9 に発表されたカーリルがおこなった調査結果^{*1}を受けて、saveMLAK でも活動をおこそうと、4/12 に「COVID-19 特別対応 Meetup」が開催されました。この Meetup では主として次の活動展開について議論され、具体的な活動に繋がっています。

1. 各段階での開閉館情報の記録と共有
2. 各段階での提供サービスの記録と共有
3. 各種の対応策の相談・共有

saveMLAK の特設ページ^{*2}にて、これら活動を整理していますので、可能な範囲での参画や、知人の方々への紹介などお願いいたします。

*1 COVID-19: 多くの図書館が閉館しています (カーリルのブログ) <https://blog.calil.jp/2020/04/stay-at-home.html>

*2 COVID-19 – saveMLAK 特設ページ
https://savemlak.jp/wiki/COVID-19#cite_note-savemlak.jp_20200412-1

ベストプラクティスの共有 (2020.5 再掲)

休館やサービスの縮小を余儀なくされている状況にあっても MLAK 機関はそれぞれに特徴的な活動を模索し、展開しています。saveMLAK では、そのような活動をはじめとするベストプラクティスを収集しています。取り組み事例の他にも、各館からのメッセージを集めたりもしています。お近くの館の取り組み、ウェブでみかけた取り組みなどを見かけましたら、saveMLAK のページへ書き込みください。

閉開館状況をみんなで可視化 (2020.5 再掲)

図書館の開閉館状況を継続的に把握するために、saveMLAK メンバーほか有志が分担して COVID-19 の影響による図書館の動向調査を実施しています。また、第3回調査では緊急事態措置による休業要請の対象に図書館が含まれているかどうか調査しています。社会情勢の変化が大きい中、継続的

な調査が必要であり、多くの調査協力も必要です。ご関心のある方は是非ご協力ください。なお、各調査結果の詳細は、saveMLAK のウェブサイトに掲載しています。

※9/15 現在、公共図書館開閉館状況調査のほか、国立大学図書館開閉館調査、NACSIS-CAT/ILL 参加館 ILL ステータス調査 (参加館情報と ILL の受付状況の集計)、専門図書館調査を行っています。

第22回図書館総合展に出展します (11/1~30)

COVID-19 の感染拡大防止の為、今年の図書館総合展はオンライン開催となりました。saveMLAK でも、会期中オンラインでイベントを開催する予定です。詳細はメーリングリスト、図書館総合展ホームページにてお知らせいたします。

会計報告 2020年6月~8月

収入

寄付 2件・グッズ売上 (合計) 17033 円

支出

手数料 (振替受入明細票再発行費用) 523 円

2020年8月末現在残高 699,654 円 (+16,510)

【糸野泰輔 / saveMLAK ファンド係】

編集後記

コロナの第一報からおよそ半年、日常でのマスク姿もすっかり見慣れたものとなりました。また、今年も発生した九州での大雨台風等の天災も心配です。COVID-19 調査もまだまだ継続いたします。未来に役立てるためにも、ぜひ今からでも一度参加してみませんか。【編集担当: 箱田愛】

編集発行: saveMLAK プロジェクト
発行日: 2020年9月15日 (火) (第65号)
発行所: 神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル
さくら WORKS<関内>407
アカデミック・リソース・ガイド株式会社内
saveMLAK プロジェクト
E-mail: pr@savemlak.jp
URL: <https://savemlak.jp/>

